

平成24年度 地理空間情報を活用した安全安心・
生活支援プロジェクト検討業務

—報告書—

平成25年3月

国土交通省国土政策局

＜報告書の概要＞

地理空間情報の活用推進については、平成 19 年に施行された地理空間情報活用推進基本法や、これに基づき平成 24 年に閣議決定された地理空間情報活用推進基本計画（新たな計画）（以下、「基本計画」）において、誰もがいつでもどこでも必要な地理空間情報を使ったり、高度な分析に基づく的確な情報を入手し行動できたりする「地理空間情報高度活用社会（G 空間社会）」の実現により目指すべき具体的な姿の一つとして「新たなサービス・産業の創出」が期待されている。

現在、様々な技術革新や地理空間情報の普及等により、地理空間情報を活用した活動やサービス提供の取組が各地で行われているが、地理空間情報活用に関するノウハウ不足により事業モデルの確立が困難であること等の理由で、特に公益的なサービス分野においては全国的に広く普及しているものは少ない。

以上を踏まえ、将来の地理空間情報活用に対する社会的要望やニーズのある公益性の高いサービス分野における新事業の創出・展開のための調査を行った。

1. 安全安心・生活支援に関わる地理空間情報を用いたサービスの概要

近年、地域の安全安心情報の共有や、高齢者等の生活支援やモビリティ確保等において地理空間情報の活用ニーズが高いものの、期待されるほど広く普及していないのが実態である。

本章では、生活支援及び安全安心の 2 つの分野を対象として、有識者や事業者へのヒアリングを行い、先進事例を調査・収集した。

調査した先進事例（調査先およびサービス名称）は下記の通りである。

＜生活支援＞

- ・農林水産省農林水産政策研究所 … 食料品アクセスマップ
- ・三重県玉城町 … 元気バス
- ・祐ホームクリニック 武藤真祐氏 … 在宅医療システム

＜安全安心＞

- ・泉交通安全協会 … 泉ココ事故情報（本年度調査でサービス試行）
- ・豊島区 … セーフスクール
- ・内閣府警察庁科学警察研究所（原田豊氏） … 聞き書きマップ
- ・長野県駒ヶ根市社会福祉協議会 … 地域の支え合い可視化による高齢者生活支援
- ・NPO 法人熊本まちづくり … ひご優ネット（H23 年度調査でサービス試行）

これらの調査・ヒアリングから、「地理空間情報を用いることで、有限な資源と有限な時間内で効率的に分析できること」「サービスの実現と定着のためには、利用者の心をつかみ、利用者に余分な負荷をかけないこと」等の示唆を得て、試行するサービスの位置付けを明らかにするとともに、調査したサービスについては、後述する手引きに掲載する事例の基礎資料とした。

2. サービス試行の実施と検証

本プロジェクトでは、地理空間情報を活用した交通安全対策の展開に資する「交通安全情報集約・活用サービス」を実際に試行するにあたっての検討シナリオと、検証結果を整理した。

(1) 本事業でのサービス試行の概要と狙い

試行したサービスの概要を以下に示す。

サービス名称：交通安全情報集約・活用サービス

サービス概要：

- サービス内容①：交通安全情報共有 GIS の構築と運用
 - ・ 交通安全に関わる主体が共通に情報共有するためのシステム（交通安全情報共有 GIS）を導入し、情報収集や提供に向けたルールや運用方針も策定し、関係機関と共有する。
- サービス内容②：交通安全情報共有 GIS を活用した交通安全対策の促進
 - ・ 電子メールによる事故情報配信「ココ事故情報メール配信」を含めた、交通安全情報共有 GIS の活用を促し、交通安全意識の喚起や、交通安全対策の向上に活用する。

期待されるサービスの効果：

- 地域の交通安全に関わる情報の共有により、交通安全に関わる主体（児童・生徒、住民、行政機関、警察署）による共通の情報基盤を通じた議論が可能となる。
- GIS を活用して、地域の交通事故発生場所や内容を把握することにより、交通事故防止に向けた意識喚起を可能にする。（対住民、児童・生徒）
- GIS を用いて事故をはじめとする交通安全に関わる情報を分析することにより、適切な交通安全対策に繋げる。（対警察や行政）

【導入する技術】

- GIS を用いた交通安全情報共有システム（＝交通安全情報共有 GIS (WebGIS)）

- 事故情報を定期的に配信するメール配信システム

【活用する地理空間情報】

- 交通事故情報（警察署）
- ヒヤリハット情報（教育機関、民間企業等）
- 通学路指定図（市区町村）
- プローブに基づく急ブレーキ情報（民間企業）